

平成29年4月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成29年4月の山梨県内の全業種のD I値は、前年同月比では売上高は不変だが、収益状況と景況感はそれぞれ12ポイント改善した。

前月比で比較すると売上高は12ポイント、景況感は2ポイント悪化しているのが、収益状況は2ポイント改善している。

製造業では木材・木製品業界で前年同月に比べ売上高はマイナス40%と大きく悪化するなど、年度の初めである4月は前年度の生産調整などの反動減等により前年を下回っている業種が多くみられた。

非製造業の多くに人手不足の状況が広がりを見せている。技能・技術者の不足により受注を断る企業もあるとの報告がみられた。

経営者の高齢化による事業承継問題、製造業や建設業等の分野に精通した知識労働者、専門職の不足はサービス業においても広がりを見せ人材育成問題は深刻化している。

米国・トランプ大統領が対外通商のドル高是正を改めて表明したことに加えて、朝鮮半島情勢の緊迫化等に伴う地政学リスクが急速に高まったことから、金融／為替市場は不安定な動きを見せている。他方では新年度を迎えて、原材料・運送コスト等の負担増や過当競争への懸念も一層増大しているため、中小企業の先行きは予断を許さない状況にある。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフト関係は低調。ホテル・レストラン・居酒屋向けの食材が落ち込み、全体の売上は前年同月比84.2%。
食料品（洋菓子製造）	量販店向けは横ばい、専門店向やOEMは焼き菓子が好調のため全体の売上は前年同月比108%
繊維・同製品（織物）	全体的に低調だが、ホテル・マンション関係の受注が好調。
繊維・同製品（アパレル）	人手不足のため受注量も減少しているが、縫製工場の減少も進み先行不透明。
木材・木製品製造	例年4月の売上は減少傾向だが、今年は前年同月比40%と特に悪く先行き不透明。
窯業・土石（砂利）	工事量は地域による格差が広がっている。
窯業・土石（山採石）	骨材価格の変動はみられないがコンクリート製品価格の低下傾向。先行不透明。
鉄鋼・金属	仕事量は増加傾向にあるが、既存設備の老朽化が著しい。
一般機器	長期的だが、組合員企業に設備投資の動きがある。

電 気 機 器	年度末に比べ受注は減少傾向。
宝飾(貴金属)	修理品対応等の作業のため受注品の生産が追い付かず売上が減少。

● 非 製 造 業

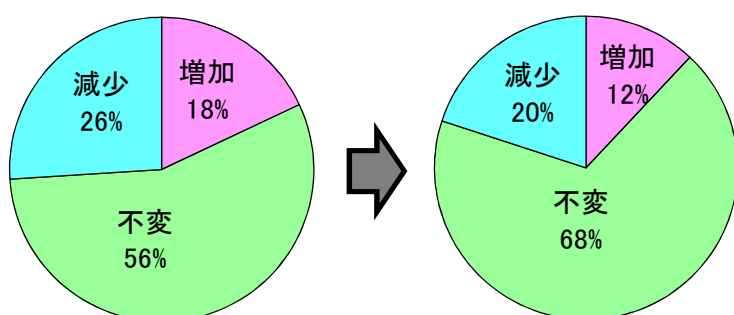
卸売(紙製品)	アメリカの好景気により、これまで中国向けだった古紙の輸出先がアメリカにシフトしている。また、古紙が高値で取引されるため売上は上昇しているが、国内の古紙の排出量が減少しているため古紙問屋間の仕入れ競争が激化し、収益難。
卸売(ジュエリー)	国内の流通は低迷。4月に開催した甲府ジュエリーフェアでは来場者は9.9%増加したが、売上は前年比11.2%減少。
小 売(青果)	春野菜の生育の遅れにより少々高値で推移。
小 売(食肉)	牛・豚の伝染病等もなく前年に比べ相場は安定。鶏肉は最大の輸入国であるブラジルで大掛かりな偽装事件があり相場が高騰、鶏肉を主体とする事業者は多少収益につながった。
小売(電機製品)	組合員の高齢化や後継者不足等により組合からの脱退が年々増えている。
宿 泊 業	宿泊客の全体的な動きは少ないが、信玄公まつりでの宿泊は昨年同様、組合員企業ではほぼ満室となった。
美 容 業	若年層はカットのみだが、高齢者は複合施術の希要望が多いため客単価が高い。しかし、新製品による施術を提案しても節約志向が強く受け入れてもらえない。
廃棄物処理(事業系)	スーパーマーケット等の集客効果のある場所に古紙や缶などの回収ボックスが設置され、市町村の資源物の回収量が大幅に落ち込んでいる。
警 備 業	年度はじめは公共工事量が減少するが、春祭り等イベント業務は増加。人手不足から受注を断る組合員企業もあった。
建設業(総合)	前払金保証からみた4月の県内公共工事動向は、前年同月比は件数で11%、請負金額で29%減少。
建設業(型枠)	新年度に入り公共・民間問わず仕事量が増加傾向。
建設業(鉄構)	技能者・技術者の人手不足が深刻化。鋼材及び鉄スクラップの価格は上昇しているが、県内の需要が少ないため、。組合員企業に格差が広がっている。
設備工事(電気工事)	公共工事の件数が前年と比べ減少しており、甲府近郊での工事がなく先行不透明。
運輸(タクシー)	異動による歓送迎会が少なく4月は売上が減少。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2016/4	2017/3	2017/4	2016/4	2017/3	2017/4	2016/4	2017/3	2017/4
売上高	-5	10	-20	-10	0	0	-8	4	-8
収益状況	-25	-5	-5	-10	-7	-3	-16	-6	-4
景況感	-20	0	-5	-13	-3	-3	-16	-2	-4

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

売上高（前年同月比）

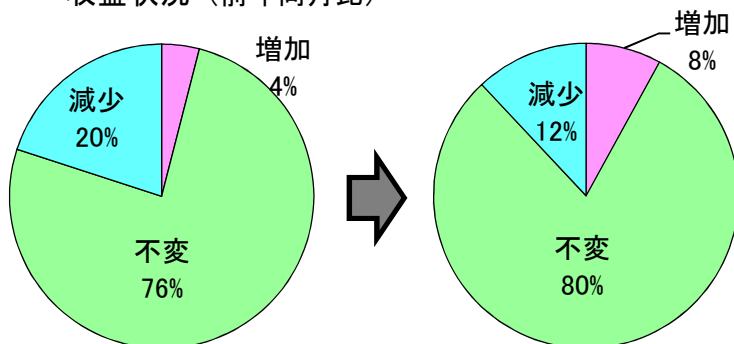


平成28年 4月

平成29年 4月

- ・ D I 値 ▲ 8（前年同月比± 0）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製造業 ▲ 20（前年同月比▲ 15）
 - 非製造業 ± 0（前年同月比+ 10）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製造業 30ポイント悪化
 - 非製造業 不変

収益状況（前年同月比）

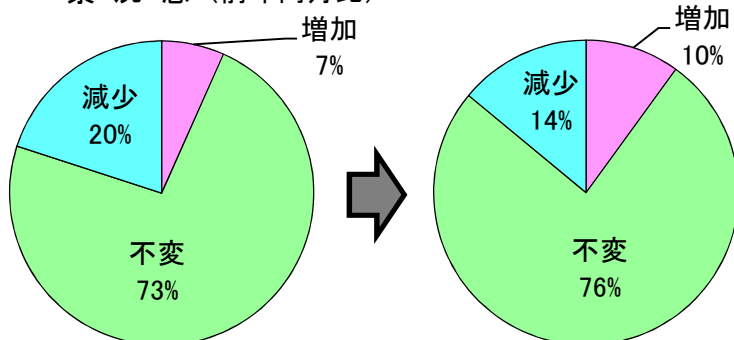


平成28年 4月

平成29年 4月

- ・ D I 値 ▲ 4（前年同月比+ 12）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製造業 ▲ 5（前年同月比+ 20）
 - 非製造業 ▲ 3（前年同月比+ 7）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製造業 不変
 - 非製造業 4ポイント改善

景況感（前年同月比）



平成28年 4月

平成29年 4月

- ・ D I 値 ▲ 4（前年同月比+ 12）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製造業 ▲ 5（前年同月比+ 15）
 - 非製造業 ▲ 3（前年同月比+ 10）
- ・ 前月比 D I 値
 - 製造業 5ポイント悪化
 - 非製造業 不変